

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2019-13649 (P2019-13649A)  
 【公開日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-004  
 【出願番号】特願 2017-134701 (P2017-134701)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 18 日 (2020.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

複数の発光手段と、

前記複数の発光手段それぞれと対応する複数の出力端子が設けられている出力ポートと

、  
 前記複数の出力端子それぞれからの信号の出力を制御することにより、前記複数の発光手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、複数の発光手段が発光している状態で遊技の進行が不能化された特定状態に移行したときに、該複数の発光手段のうちの一部の発光手段の発光を維持するように前記信号の出力を制御し、該一部の発光手段以外の 2 以上の発光手段の発光が停止するように前記信号の出力を制御し、

複数の発光手段は、遊技者による第 1 操作が有効である旨を示唆する第 1 発光手段と、  
技者による第 2 操作が有効である旨を示唆する第 2 発光手段とを含み、

前記 2 以上の発光手段には、前記第 1 発光手段と前記第 2 発光手段が含まれ、

前記 2 以上の発光手段と対応する出力端子それぞれは隣接して設けられている、遊技機

。【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

( 1 ) 遊技を行うことが可能な遊技機（たとえば、スロットマシン 1）であって、

複数の発光手段（たとえば、図 3 に示す第 1 D G 群の D G 5 に示す各 L E D）と、

前記複数の発光手段それぞれと対応する複数の出力端子（たとえば、出力端子 D 0 ~ D 6）が設けられている出力ポート（たとえば、第 1 出力ポート 6 1）と、

前記複数の出力端子それぞれからの信号の出力を制御することにより、前記複数の発光手段を制御する制御手段（たとえば、メイン C P U 4 1 a）とを備え、

前記制御手段は、複数の発光手段が発光している状態で遊技の進行が不能化された特定状態（たとえば、エラー状態または設定確認状態）に移行したときに、該複数の発光手段のうちの一部の発光手段（たとえば、図 6（C）に示す B E T L E D、リプレイ中 L E D、有利区間 L E D）の発光を維持するように前記信号の出力を制御し、該一部の発光手段以外の 2 以上の発光手段（たとえば、図 6（D）に示す投入要求 L E D およびスタート有効 L E D）の発光が停止するように前記信号の出力を制御し、

複数の発光手段は、遊技者による第 1 操作が有効である旨を示唆する第 1 発光手段と、技者による第 2 操作が有効である旨を示唆する第 2 発光手段とを含み、

前記 2 以上の発光手段には、前記第 1 発光手段と前記第 2 発光手段が含まれ、

前記 2 以上の発光手段と対応する出力端子それぞれは隣接して設けられている（たとえば、図 3 の第 1 出力ポート 6 1 に示すように、スタート有効 L E D に対応する出力端子 D 1 と、投入要求 L E D に対応する出力端子 D 6 とは隣接している）。